

共同募金会における出納業務適正実施のための全国緊急一斉点検回答表
(長野県共同募金会回答分)

令和8年7月17日
長野県共同募金会

【項目別の回答】

I 今回の事案に関わる確認事項

1 基礎的事項

設問	回答
[1-1] 銀行口座・金銭の出納について経理規程または準ずる内規等に規定があるか。	ある
[1-2] 口座や届出印を管理する担当者について経理規程または準ずる内規等に規定があるか。	ある
[1-3] 出金時の決裁などの手続きについて経理規程または準ずる内規等に規定があるか。	ある

2 一人では支出・入金ができない体制となっているか

設問	回答
[2-1] 預金通帳、証書、金融機関届印の管理者は異なっているか。	異なっている
[2-2] 金融機関届出印と通帳は異なる場所に保管しているか。	保管している
[2-3] 金融機関届出印は必ず会計責任者等の届出印管理者が押印しているか。	押印している
[2-4] 支払は、必ず支払先からの請求書等証憑書類に基づいて支出伝票を起票し、会計責任者の承認を得て行っているか。	行っている
[2-5] 支払は、毎週○曜日、毎月末日、など日にちを決めて行っているか。	行っている 毎月20日
[2-6] 会計伝票は起票者と最終決裁者（会計責任者）が異なっているか。	異なっている
[2-7] 会計伝票の検印者は最低何名いるか。	3名
[2-8] 検印者が会計伝票の内容について起票者に照会することがあるか。	ある
[2-9] 規程に定められた金額以上の支出を行う場合に、規定された決裁者（会長、副会長、理事会）による決裁に基づいて行っているか。	行っている

〔2-10〕 小口現金制度による支払い以外は、原則金融機関からの振込により行っているか。	行っている
〔2-11〕 日々の入出金に際して会計伝票作成・会計システムへの入力を行っているか。	行っている
〔2-12〕 会計システムの管理者（実際にシステムの設定操作を行う人）は誰か。	管理職の職員
〔2-13〕 インターネットバンキングを利用している場合、何名のユーザーがいるか。 また、全てのユーザーのログインIDは誰が管理しているか。	3名 管理職の職員
〔2-14〕 インターネットバンキング利用している場合、振込承認決定権者を振込依頼書作成者と分けて承認者の設定をしているか。	設定している
〔2-15〕 インターネットバンキングの振込承認決定権者や振込依頼書作成者を変更する権限は誰が持っているか。 また、変更した際の通知は誰のメールアドレスに来るか。	管理職の職員 複数アドレス
〔2-16〕 インターネットバンキング利用している場合、パスワードは定期的に変更しているか。	変更している

3 金融機関の口座が適正に管理されているか（簿外口座がないか）

設問	回答
〔3-1〕 県共募名義の口座、市町村共募名義の口座はそれぞれいくつ保有しているか。	県共募23 市町村共募166
〔3-2〕 会計帳簿、月次報告書に計上されていない簿外の預金口座はないか。（全ての取引金融機関に確認した上で回答）	ない

4 預金額や取引内容を適正に把握しているか

設問	回答
〔4-1〕 決算時に取引金融機関支店に全口座の残高証明をとっているか。	とっている
〔4-2〕 役職員の本人又は親族が運営する企業との取引があるか。ある場合、役職員名、企業名、（補足欄に）役職員との関係はどのようなものか。	ない
〔4-3〕 毎月末に計算書類「資金収支計算書及び貸借対照表」と附属明細書「資金収支明細書」と現預金口座残高との照合確認を行っているか。	行っている

〔4-4〕 決算時に計算書類「資金収支計算書及び貸借対照表」と附属明細書「資金収支明細書」と現預金口座残高との照合確認を行っているか。	行っている
〔4-5〕 令和8年3月31日決算の貸借対照表において、流動資産の現金預金の額から災害等準備金と各引当金を除いた額が、流動負債の未交付送付金を上回っているか。	いる
〔4-6〕 計算書類「資金収支計算書及び貸借対照表」と附属明細書「資金収支明細書」と現預金口座残高との照合は、直近でいつ・誰が行ったか。それは合っていたか。	令和8年6月 管理職の職員

5 金融機関から不正な借り入れがないか

設問	回答
〔5-1〕 この3年間で金融機関等からの借り入れを行っているか。借入先と金額、理由。	行っていない
〔5-2〕 金融機関等からの借り入れを行う場合、理事会での決議に基づいて行っているか。	行っている
〔5-3〕 組織的に把握していない金融機関等からの借り入れはないか。（全ての取引金融機関に借入状況を確認した上で回答）	ない

6 令和8年度の助成が適正に行われたか

設問	回答
〔6-1〕 令和7年度募金による助成について助成先団体への決定通知を発出したか。また、発出時期はいつか。	発出した 令和8年3月

II 過去の不適正事例への対応等

7 現金の取扱いが適正に行われているか

設問	回答
〔7-1〕 窓口等において現金で受領した寄付金は、その場で複数名もしくは寄付者と確認し、直ちに受領書または領収書を発行したうえで、金融機関口座に預入れをしているか。	預入れしている
〔7-2〕 受領した現金を直ちに金融機関への預け入れできない場合、会計補助簿（現金出納帳等）に記録のうえ、金庫に施錠保管しているか。	施錠保管している
〔7-3〕 募金箱の開封は複数人が立ち合い、金額集計を行い、開封月日・設置場所・金額を記した書面等を作成しているか。	作成している

〔7-4〕 小口現金制度を採用し、経理規程に定められた金額の現金を扱う場合は、日常使用する雑費や緊急的な支払いに限定しているか。	小口現金制度を採用していない
〔7-5〕 金融機関口座から現金を出金する場合、会計責任者が払い戻し請求書と出金伝票及び証憑書類を照合のうえ、金融機関届出印を押印しているか。	押印している
〔7-6〕 現金出納帳により、毎月末小口現金と出納帳残高が合っていることの実査確認を行っているか。確認者は誰か。	小口現金制度を採用していない

8 書き損じの領収書等の取扱いが適正に行われているか

設問	回答
〔8-1〕 受領書または領収書の書損の管理や、発行済み領収書に誤りがあり再発行する際に誤りのあった領収書を返納させるなどの管理を行っているか。	行っている
〔8-2〕 支出伝票や払込票、現金を払い出す場合の払出票について、押印後に仕損じが確認された場合は、当該払出票の押印部分に二重線を引いて、確実に取消されるようにしているか。	取り消されるようにしている